

# 医学雑誌の出版社間引用関係の分析

児玉 関

東邦大学医学メディアセンター

## 1. はじめに

購読する学術雑誌を選定する際、雑誌の引用関係を参考にすることがある。そこには、「その雑誌がよく引用する雑誌」、「その雑誌をよく引用する雑誌」を揃えることで、論文を読んだ先のニーズまでカバーする狙いがあるといえよう。雑誌が電子化されると、購読形態は多様化した。とくに大学図書館では、ビッグディールと呼ばれる大量の雑誌をパッケージ化した購読が増えた。これはスペースを必要としない電子版ならではの購読形態である。いまや大手出版社を中心に、多くの雑誌が出版社単位のビッグディールで契約されるようになった。しかしすべての雑誌をビッグディール契約できるわけもなく、図書館はビッグディール契約をする出版社を選ばなければならないのが現状である。

本調査では、ビッグディール契約をする出版社を選ぶ際の参考となるデータとして、出版社間の引用関係に着目した。出版社ごとに雑誌の集合を作成し、「よく引用する出版社」、「よく引用される出版社」を明らかにすることで、利用者ニーズにあった電子ジャーナル契約に寄与できると考えた。

## 2. 対象

本調査では、主に、日本医学図書館協会/日本薬学図書館協議会向けコンソーシアム提案があり、契約実績がある20社を対象とした。雑誌、出版社、引用に関するデータはJournal Citation Reports Science Edition 2009年版(以下、JCR2009)を使った。

## 3. 方法

JCR2009には、ソース誌は7387誌あるが、そのうち20社に該当する3348誌について、引用関係を集計した。20社と各社の雑誌数は表1の通りである。引用関係はJCR2009にあるCiting Journal DataとCited Journal Dataを用いた。それぞれの引用元誌と被引用誌を、ソース誌に基づいて20社に分類し、引用数を集計した。なお引用数は、当年から4年前までの5年間のデータを使った。

表1. 調査対象出版社と雑誌数

出版社	雑誌数	出版社	雑誌数
AAAS/Science	1	Karger	73
ACP	1	LWW	164
ACS	39	Nature	87
AMA	10	OUP	93
Am Acad Pediatr	2	RSC	23
Annual Reviews	30	RUP	3
BMJ	22	Sage	92
CUP	62	Springer	798
Elsevier	1073	Thieme	46
Informa	35	Wiley	694

※結果、および考察は、当日の発表で行う。

以上